

# 中部国際空港セントレア プレミアムバスツアー

2019年11月30日(土)

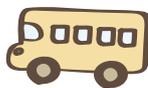
2019年11月30日(土) ディスカバリーチャンネルとケーブルテレビ3局による『中部国際空港セントレア プレミアムバスツアー』を開催いたしました。北風が強い冷たい朝でしたが、セントレアのある愛知県に到着するころには、太陽の日差しのおかげで屋外でも比較的過ごしやすい一日となりました。小学生のお子様とその保護者の方、総勢40名の皆さまと楽しくツアーを過ごすことができました。そのイベントの様子をご紹介します。



## 📖 ツアースケジュール 📝

8:30 松阪ケーブルテレビ出発 ~ ZTV本社 ~ 関ドライブイン

10:00 関ドライブイン 出発



ここで最後のお客様と合流。

トイレ休憩のあと、セントレアに向けて出発です！



二人で相談した答えをアンサープレートで「えいっ」

### 車内恒例

## 〇×クイズ大会!

バスツアーは、初めてのお客さま同士、丸一日を一緒に過ごします。そんな皆さんに少しでも楽しく打ち解けて過ごしていただくために、毎回開催しているクイズ大会。今回もディスカバリーチャンネル、ケーブルテレビが豪華景品をご用意しました。皆さま、出題される問題に一喜一憂！大いに盛り上がりました。

今回のクイズ出題者！  
ケーブルコモンネット三重  
杉野です！



答えは「×」かなあ〜？



何がもらえたのかな？



最後は残った景品をかけて、みんなでじゃんけん大会！



11:10 まるは食堂りんくう常滑店 到着



名物のエビフライを堪能しました！



食堂から見えるセントレアライン

おしながき  
付き出し  
エビフライ二本  
鱈身盛  
刺身盛  
御飯・お味噌汁  
お漬物



12:15 セントレア到着

バスから降りたところで、ディスカバリーチャンネルのスタッフがお出迎え。セントレア出発ロビー3Fの「パイロットお仕事講座」の会場、特別待合室へセントレア空港の中を移動しました。



## 13:00 IBEX パイロットお仕事講座

現役のパイロットから、日頃の仕事の内容や、飛行機についての知識をクイズ形式で教えてもらいました。また、飛行機が離陸、着陸するときの操縦室の様子を見せてもらい、時速 250 キロで進む様子は迫力がありました。そのほか、天候によって変わる飛行ルートを実際に考えてみたり、実際に体験してもらう内容が盛りだくさんでした。質問コーナーでは、「いい質問ですね～」と小村さんをうならせる質問も飛び出し、あっという間の 60 分でした。

最後に、パイロットやキャビンアテンダントの制服を着ての記念撮影タイム。小村さんと一緒に撮ってもらうお子様もみえました。



IBEX エアラインズの小村 昌弘様



映像を見てパイロット気分を体感



最短で飛べる飛行ルートって？



真剣なまなざしで説明を聞く皆さん



皆さんで記念写真を撮りました！



機長の機内アナウンスを体験



バランス感覚の検査を体験

## 14:00 滑走路見学ツアー

いよいよお待ちかねの滑走路ツアーです。出発前には保安検査場で、身分証と持ち物検査、金属探知機のゲートをくぐってようやく準備完了。皆さんが乗ってきたバスに乗ってさあ出発！



滑走路内の貨物地区や、空港島を走りながら、ガイドさんが楽しく説明してくれました。降車ポイントではバスを降り、滑走路から数百メートルの位置で、轟音と共に離着陸する飛行機を堪能。JAL と沖縄美ら海水族館がコラボした珍しい青色のジンベエジェットも見ることができました。



検査前の緊張の面持ちの皆さん



お約束?の一枚です



## 15:45 セントレア内 フリータイム

滑走路見学ツアーが終わり、フリータイム。レンガ通りやちょうちん横丁、フライト・オブ・ドリームズなどグルメやショッピングを楽しんでいただきました。この時期、ちょうどクリスマスマーケットが開催されていて、北欧のクリスマスを感じるグッズや、フードも満喫できました。

## 17:30 セントレア出発

名残惜しいですが、夜の明かりが灯るセントレアを後にして、帰路につきました。



## 19:00 関ドライブイン ～ ZTV 本社 ～ 松阪ケーブルテレビ 到着 (20:30)

### スタッフより

今回のツアーに参加したあるお母さんが「この子は小さい頃、飛行機になりたいって言ってたんですよ」と話してくれました。それを聞いていたお子さんは、「小さかったからしょうがないじゃん」と照れながらも、「今はパイロットだよ」と話してくれました。将来どんな夢をかなえてくれるのか楽しみだなあと旅の最後に心が和み、イベントを通して、何かしら考えるきっかけができたのであれば、嬉しいなとも思いました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。